

日本工業標準調査会標準部会(第30回)議事要旨

- 1 日 時:平成18年2月22日(水)10:00 – 12:00
- 2 場 所:経済産業省第2共用・第3共用会議室 本館17階
- 3 出席者:二瓶部会長、岩井委員、大山委員、梶村委員、佐野委員、菅原委員、田中委員(代理)、富田委員、樋口委員、吹譯委員、前原委員、宮入委員、矢萩委員、若井委員
- 4 議 題:
 - 4.1 前回標準部会(書面審議)の結果報告について
 - 4.2 平成17年度工業標準化状況報告及び平成18年度工業標準化業務計画案の概要について
 - ・全体概要及び分野別概要について
 - ・国際的動向について
 - ・標準化経済性、IPR、BCP、CSR等
 - ・国際標準化100年記念事業について
 - ・平成18年度標準化のための調査研究テーマ案(新規)について
 - 4.3 特定標準化機関(CSB)の確認について
 - 4.4 引用規格の改正・廃止に伴う規格の改定について
 - 4.5 平成17年度工業標準化審議計画(追加)について
 - 4.6 専門委員会に属すべき者の指名について
 - 4.7 その他
- 5 議事概要:
 - 5.1 前回標準部会(書面審議)の結果報告について

事務局から、資料2に基づき第29回書面審議の結果が報告された。
 - 5.2 平成17年度工業標準化状況報告及び平成18年度工業標準化業務計画案の概要について

事務局から、資料3-1～資料3-6に基づき説明があり、以下のような意見があった。

 - ・消費者・高齢者・障害者のニーズを踏まえた標準化を推進するとあるが、消費者・高齢者・障害者はそれぞれ取組み方が異なるため、留意すべき。中小企業も多いため、国が率先して進めて欲しい。

- ・ 消費者の標準化の関心はまだ低い。規格作りに消費者の声を取り入れるためのセミナーが開催されたが、消費者はまだ手探り状態であり、段階を経た内容のセミナー開催を望む。
- ・ 冷蔵庫の消費電力測定法の JIS 改正に伴い、消費者の誤認がないように店頭、カタログには新しい JIS による値である旨の表示をして欲しい。

5.3 特定標準化機関(CSB)の確認について

事務局から、資料4に基づき説明があり、異議無く了承された。

5.4 引用規格の改正・廃止に伴う規格の改定について

事務局から、資料5に基づき説明があり、異議無く了承された。

5.5 平成17年度工業標準化審議計画(追加)について

事務局から、資料6に基づき説明があり、異議無く了承された。

5.6 専門委員会に属すべき者の指名について

事務局から、資料7に基づき変更委員の説明があり、異議なく指名された。

5.7 その他

・次回の開催について

次回標準部会は、4月中旬の開催を予定し、日程を調整することとされた。